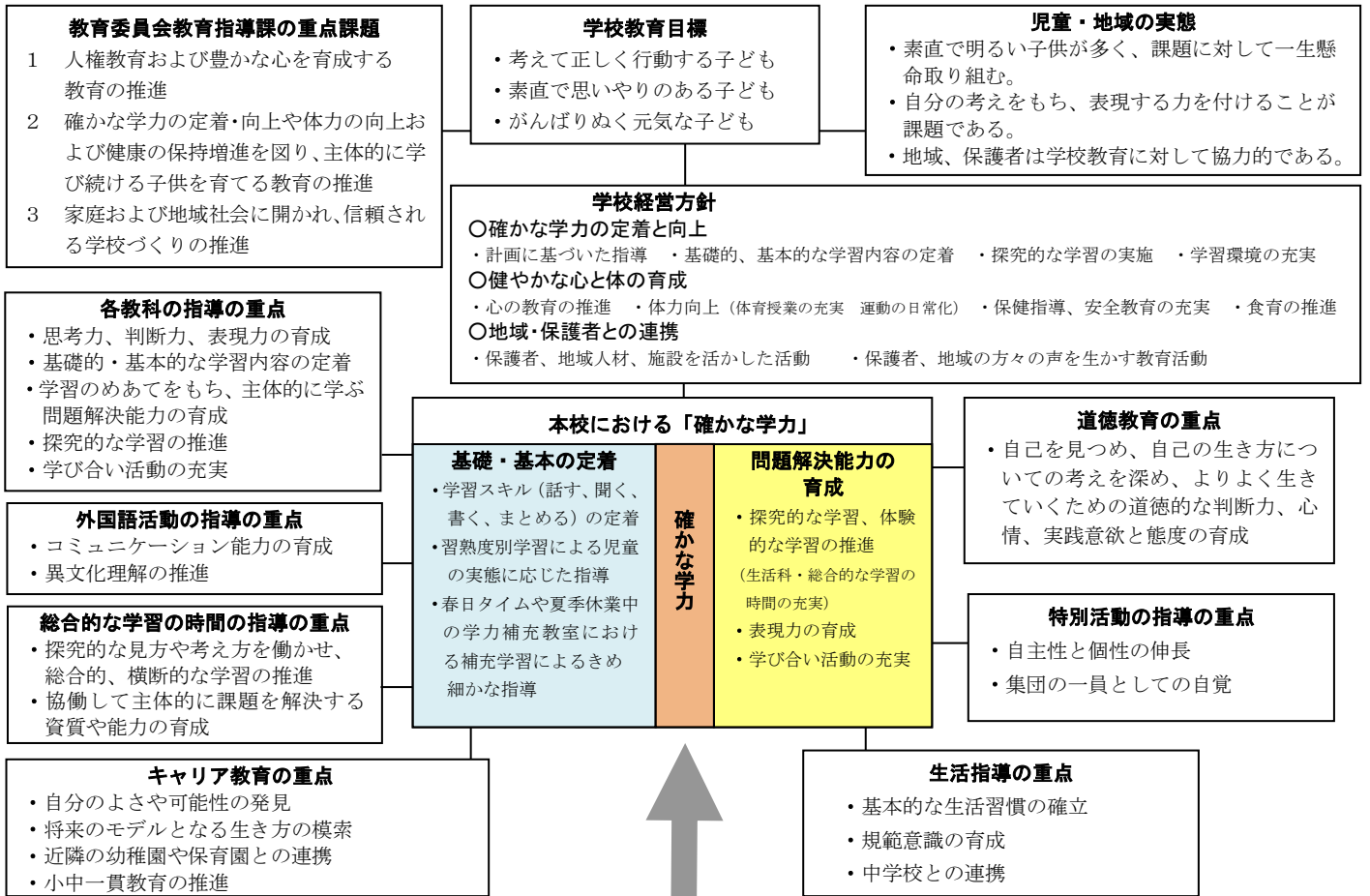


令和元年度 学力向上を図るための全体計画

練馬区立春日小学校



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> 単元や1単位時間における問題解決的な学習を推進する。 全校体制によるノート指導の充実を図る。 児童に考えさせること、教師が教えることを明確にして指導計画を作成する。 学年の発達段階を踏まえた学習スキルの習得を図る。 体験的な学習や基礎的、基本的知識、技能を活用した問題解決学習を実施する。 学年合同の課題別学習を実施し、問題解決能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数科で、第3学年以上は各学年3展開の習熟度別指導、第1・2学年は各学級2展開の習熟度別指導を行い基礎・基本の確実な定着を図る。 言語活動の充実のために、各教科において対話型の授業を展開し、児童の考えを引き出す場面を設定する。 朝の学力補充の時間(春日タイム)や夏季休業中の学力補充教室の実施により、国語と算数の基礎・基本の確実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考える楽しさと分かる喜びを実感できる算数科の授業づくり」を校内研究のテーマに、低・中・高の分科会ごとに目指す児童の姿を実現するために研究授業を通して授業の改善・充実を図る。 分科会における教材研究を週ごとの指導計画に生かす。 分科会での研究を基に、一人一人が学習指導案を作成し授業実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に合わせて各単元の評価規準を作成し、評価指標を明確にする。 1単位時間ごとのねらいを明確にした週ごとの指導計画を作成し、授業の評価を行う。 保護者、地域、児童によるアンケート調査を実施し、結果を踏まえ自己評価を行う。その結果を基に学校関係者評価を実施し、授業改善に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校地域連携事業等を活用し、地域の多様な知識経験を有する人材を活かして豊かな教育活動を実践する。 幼稚園児や保育園児、高齢者との触れ合い体験を実施する。 保護者会、道徳授業地区公開講座、学校保健委員会等を通して、基本的な生活習慣や規範意識の育成への協力を依頼する。 地域の行事にできるだけ参加する。 地域と連携した防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題改善カリキュラムの検証、改善を行う。 校区別協議会では、中学校の授業参観と生活指導に関わる学年別の分科会を行う。全教科の公開授業と教科別の分科会を行い、グループの小中4校で連携して授業実践の向上に努める。 中学校第1学年・小学校第5・6学年でクリーン運動を実践する。 第5学年を対象とした中学校の体験授業に参加する。 第5・6学年を対象とした中学校の部活動体験に参加する。